

2014年1月27日に結成された「里浜ネットワーク」。被災沿岸部の「浜」で芽生え始めた、人と海とのかかわりの再構築をめざし、貴重な情報を共有し、学びあい、連携して各方面に情報発信します。

里浜ネットワーク 第6回総会



特定外来種のおオキンケイギク（仙台市荒浜）

（総会）10:00～10:30

（講演）10:30～12:00

講師紹介

昭和26年8月10日宮城県東松島市大塚生まれ

昭和55年3月 東北大学大学院工学研究科

土木工学専攻博士課程後期修了（工学博士）

平成4年12月～平成29年3月

東北大学大学院工学研究科准教授

・平成12年～（公社）「土木学会東北支部選奨

土木遺産選考委員会」委員 ・平成25年～「貞山・北上・東名運河研

究会」代表世話人 ・平成29年～ 東北土木遺産研究所 所長・平

成30年～ 野蒜塾 代表

現在、仙台湾岸に展開する野蒜築港や日本一長い運河群「北上運河・東名運河・貞山運河」の復興再生ならびに水質・生態系・景観保全の調査研究、水と砂が織りなす地形・地名と防災教育への教材開発、東北地方の土木遺産の顕彰と地域づくりに取り組んでいます。



（演題をもとに来場者との「話題・情報交換」を含む）

『貞山・北上・東名運河研究会と野蒜塾の連携について』

～仙台湾岸に展開する日本一長い運河群と野蒜築港に関連する水辺環境調査から地域づくりに貢献する諸活動 野蒜海岸・洲崎湿地での取り組み～

貞山・北上・東名運河研究会、東北土木遺産研究所、野蒜塾
後藤 光亀（こうき）氏



「野蒜塾」は、2018年3月に地元住民が主体となって立ち上がった非営利団体です。それ以前、2013年に立ち上がった「貞山・北上・東名運河研究会」は、仙台湾岸に展開する日本一長い運河群と野蒜築港に関連する水辺環境調査から地域づくりに貢献する諸活動を行ってきました。野蒜塾の外来種除草は、2017年から貞山・北上・東名運河研究会の調査成果をもとに、2018年から地元住民が実践に移したものです。

日時：2019年9月1日（日）

会場：荒浜里海ロッジ（仙台市若林区荒浜中丁27）

講演のみの参加も歓迎いたします。参加費無料・申し込み不要。終了後、希望者で、現地観察会を行います。

連絡先：事務局 佐藤正人携帯 090-9749-3166